

取組の主体			取組の対象				地域の国際化			特色ある取組				
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒 未就学児 小学 中学 高校				教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用

No.18 JET-ALTが高校生を応援！グローバルキャンプ

実施時期：平成30年～現在
任用団体名：神奈川県

取組のポイント

- 英語の学習に対するモチベーションが高く、将来はリーダーとして活躍することを目指す生徒を対象に「グローバルキャンプ」を実施。
- 現代の諸問題を考え、議論し、解決策を見つける学習活動において、JET-ALTは英語での講義や、生徒のプレゼン指導、ディスカッション等を実施。

任用団体の基本情報

人口：9,222,108人 ※令和5年4月1日現在
JETプログラム参加者の人数：(ALT) 2人 (CIR) 0人 (SEA) 0人
学校数：中学校2校、高等学校137校、特別支援学校29校

取組の背景・課題

グローバルキャンプは、国際社会に貢献できる人材の育成を目指して、平成28年に神奈川総合高等学校で初めて開催された、県内外の高校生と留学生のための取組である。

平成30年より、「環境問題」や「教育の不平等」など、世界の諸問題についてより深い議論を行うためにJET-ALTが参加することになった。

平成28年資料：<https://www.kanaloco.jp/special/serial/schoolroom/entry-76165.html>

取組の内容

- 神奈川総合高校研究開発グループの教員が会場や参加者のスケジュールを押さえる。平成28年と令和3年以降は神奈川総合高等学校、平成31年（令和元年）は東京都のオリンピックセンター、令和2年は東京グローバルゲートウェイで実施した。
- 参加者募集は神奈川総合高校研究開発グループの教員が担う。参加者の選抜はせず、希望者は全員参加できる。
- 1日（または2日間）のカリキュラムは神奈川総合高校研究開発グループの教員が作成する。JET-ALTは英語でのプレゼンや生徒とのディスカッションを行う。
- JET-ALTが、世界の様々な問題について講義を行い、生徒はグループでリサーチを進め、解決策を考え、英語でプレゼンテーションをする。
- 令和4年のグローバルキャンプでJET-ALTは「未来の持続可能な食糧」をテーマに講義をし、生徒に対して人口増加と気候変動が同時に進行する中で、食糧を確保する方法についてのリサーチ課題を与えた。

取組の内容（続き）

- JET-ALTは1つのアイデアとして「食用昆虫」を提案し、生徒の試食用として実際に東京都内にある自動販売機「MOGBUG」で購入した昆虫食を持参した。
- 昆虫食を拒絶していた生徒の考え方にも変化がみられ、講義後、昆虫食を社会的に受容する手法を検討していた。



令和4年グローバルキャンプでの
生徒たちの活動の様子

令和4年グローバルキャンプでの
JET-ALTと生徒たちが昆虫食を試
す様子



取組の成果・今後の展望

パンデミックの間もプログラムは継続的に行われており、多くの生徒が参加してきたことから、グローバルキャンプは生徒にとって必要な活動であることが伺える。生徒の英語力だけでなく、批判的かつ世界規模に考える力を伸ばしている。

教室という限られた学習環境から、学習環境を更に広げることにつながると考えている。このような授業以外での訪問をより多くの学校で実施できるよう、広報活動について検討していきたい。

問合せ先

担当部署名：神奈川県立総合教育センター

教育事業部 教育人材育成課 キャリア推進班

TEL：0466-81-1635

URL：<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/>

